



わたし、アナタ、min-na

No. 8

そのすがたがうれしい

相談室編

2026年7月1日 市立札幌開成中等教育学校便り
〒065-8558 札幌市東区北22条東21丁目1-1
TEL 011-788-6987(代表) FAX 011-781-5629
HP <http://www.kaisei-s.sapporo-c.ed.jp/>

7月になりました。半袖で過ごす姿も見られるようになり、夏の訪れを感じる陽気となってきましたね。

今月は開成祭が開催されます。日々の学習活動に加えて、開成祭の準備活動も始まり、忙しい日々が続きます。しっかりと体調管理をしましょう。

今月のコラムは充実期副主任の高松勇輔先生です。



感謝カンゲキ雨嵐

充実期副主任 高松 勇輔

FIFA ワールドカップが始まりましたね。皆さんは日本代表の試合を観ましたか？毎日、素晴らしい試合が繰り広げられています。私はワールドカップが始まると、いつも父のことを思い出します。4年前のカタール大会が開催されていた頃、私の父は病気で亡くなりました。

父との思い出は、サッカーばかりです。初めてサッカーを教えてくれたのも父でした。小学生の頃は、朝5時に起きて小学校のグラウンドで父と朝練をすることが日課でした。眠たいし、疲れるから嫌でしたが、帰り道のコンビニでゼリーを買ってもらえることを楽しみに、渋々グラウンドへ向かっていました。練習の最後に行く50m走が嫌で、毎日のように泣きながら走っていました。夜には所属していたサッカークラブの練習があり、自宅から離れたグラウンドへ向かいました。帰りは決まって父が迎えに来てくれました。当時の私は、サッカークラブに友達が一人もおらず、帰りの車内でも泣いていました。そんな私の姿を見ても、父は何も言わず、次の日も朝練をして、夜には迎えに来てくれました。

最近、時間に追われていると感じることが多くなりました。「仕事のためにもっと時間を使いたい」「子どもと一緒にいる時間を増やしたい」「自分自身のために使える時間がもっとほしい」「ゆっくり休む時間がほしい」。日々、時間の使い方について考える中で、ワールドカップの開幕をきっかけに、ふと父のことを思い出しました。今の私と同じくらいの年齢の頃、父は朝から晩まで家族のために時間を使っていてくれました。そのことを考えると、父が私たち家族に与えてくれた時間の尊さを、今になって強く感じます。

しかし、そのことに気づくのは遅すぎました。父には余命を伝えないという方針だったため、私たち家族は最期の時を覚悟しながらも、自分たちの思いを十分に伝えることができませんでした。振り返ると、「ありがとう」という感謝の気持ちを直接伝えるべきだったと思います。「いつか伝えよう」と先延ばしにしていたことで、大切な機会を失うことがあるのだと学びました。

もう私は父に直接思いを伝えることはできません。しかし、この気持ちを忘れずに、これからの日々を過ごしていきたいと思います。皆さんには、大切な人への思いを伝えることを恐れず、伝えられるタイミングを逃さない人になってほしいと思います。

【7月のスクールカウンセラー・相談支援パートナー・学びのサポーター 来校日】

スクールカウンセラー	齋藤 京子さん	7/1(水)、7/8(水)、7/15(水)、7/22(水)
	保坂 彩子さん	7/2(木)、7/9(木)、7/16(木)、7/23(木)
相談支援パートナー	馬場 航平さん*	7/1(水)、7/6(月)、7/8(水)、7/22(水)
	今井 幸さん	7/3(金)、7/7(火)、7/14(火)、7/17(金)、7/21(火)
	佐藤 芳美さん	7/2(木)、7/9(木)、7/16(木)、7/23(木)

* 学びのサポーター 兼任



【保護者のみなさまへ】

スクールカウンセラーのカウンセリング予約はいつでも受け付けておりますので、担任又は保健室までご連絡ください。

